

セッション数

「セッション」とは、ウェブサイトへアクセスしたユーザーが、サイト内を閲覧し、離脱するまでの一連の行動を指します。「セッション数」とは、その数をカウントしたもので、「訪問数」「ビジット数」「訪問回数」ともいいます。

セッション数は、実際の行動とウェブサイトにおける計測が一致しないことが多い点に注意してください。たとえば、一定時間(ほとんどのツールにおいては30分間)ウェブサーバーにリクエストがないと、セッションが終了したと判断されます。この「一定時間」はツールによって変更することができ、たとえば、Adobe Analyticsではパーソナルレポートスイート機能を利用することでセッションの定義を変更し、分析し直すことも可能です。

新規セッション率

全セッション数のうち、初めて訪問したユーザーのセッション数の割合を指します。計測期間以前に訪問したユーザーによるセッション(訪問)はリピーターのセッション(訪問)と判断されるため、新規セッション率は測定する期間によって変わります。

$$\text{新規セッション率(\%)} = (\text{新規ユーザーのセッション数} \div \text{全セッション数}) \times 100$$

ユニークページビュー数

同一セッション内で同一ページを複数回見ても、重複してカウントしないページビュー数を指します。「ページ別セッション数」「ページ別訪問数」とも呼ばれます。

たとえば、同一セッションで「ページA→ページB→ページA」と見た場合、「ページAのページビュー数は2」ですが、「ユニークページビュー数は1」です。

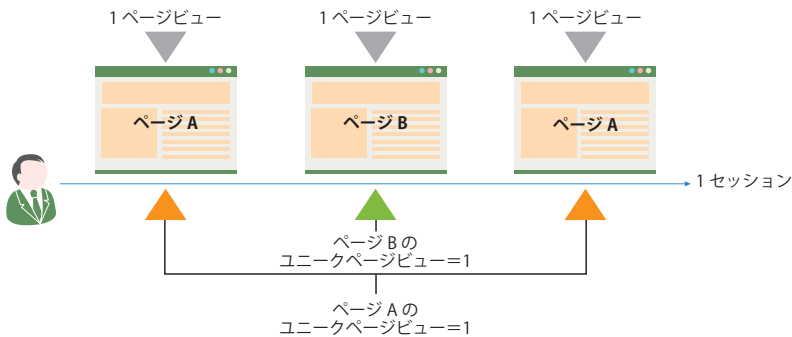


図1-4-18 ユニークページビュー数のカウント方法

セッション数はサイト全体の合計と合わせるため、通常は最初に見たページにセッション数を記録しますが、ユニークページビュー数はページごとに訪問のたびに記録されるので、セッション数よりも多くなります。

ユーザー数

「ユーザー数」とは、一定期間にウェブサイトを訪れたユーザーの数を指します。「訪問者数」「ビジター数」「ユニークユーザー数」とも呼ばれます。解析ツールによって、ユーザーの判別方法が異なります。

たとえば、あるユーザーがある期間のうちに2回サイトに訪問した場合、セッション数は2ですが、ユーザー数は1となります。つまり、図1-4-23は、ページビュー数は6、セッション数は2、ユーザー数は1となります。

図1-4-19